

シンコーフレックス

米原に再資源化施設

レアメタル・貴金属リサ

非鉄総合商社、川嶋（川嶋義勝代表）を中核とする川島グループのシンコーフレックス（本社＝浜松市、松浦博幸社長）は、滋賀県米原市にレアメタル・貴金属リサイクルの研究開発や再資源化処理を行う「エックス・メタル・プラント」を新設し、今春から試験稼働を開始した。化学・特殊金属・エレクトロニクス産業などから排出される副産物の再資源化に取り組み、サーキュラーエコノミー（以下C E、循環経済）への貢献を図る。総投資額は建屋および設備で約7億5000万円。

同社ではC E時代に
対応したりサイクルを
実現するため、202
2年に鳥居数馬会長と
松浦社長の新経営体制
をスタート、リサイク
ル技術の確立に努めて
いる。今回、川島グル
ープの三光米原の敷地
内に用地（敷地面積1
1000平方メートル）を確
保。22年夏ごろに工場
建屋を竣工し、現在、
5人体制で各種設備の
導入を進めている。
新工場には小ロット
のレアメタル系特殊金
属や銅の合金化を行う
3・4トンの高周波誘導炉
2基を導入した。現在
は1基が試験稼働中

順次、製造ラインを設
置する計画。本設備の
稼働で海外へ輸出され
ている特金系スクラッ
プの再資源化が見込
め、レアメタル国内資



新設したX metal plant

源循環の拡大が期待で
きる。
化学産業などで原料
生産時に発生する副生
物についても、新設し
た攪拌濃縮装置で有価
金属を濃縮回収すると
共に、気体化した液中

の有害物質は燃焼炉で
1000度まで熱して
無害化する。低濃度の
貴金属濃縮処理には高
度な技術とノウハウが
必要のため、各種技術
は特許を出願中。安全
管理についても万全の
体制を敷いている。
その際に発生する排
熱を利用して加工処理
を行うロータリーキル

ンで、半導体産業から
排出されるシリコン系
副産物の乾燥加工を行
い、鉄鋼用副資材とし
て活用する。それ以外
にも選別行程の前処理
設備としても使用し、
複合素材から有機系素
材を減容することで金
属の回収効率向上につ
なげていく。

現在は各工程でデー
タを収集し、最適な生
産工程の実現に向けて
テストを繰り返してい
る。これにより有価物
の再資源化をする際に

環境負荷の低い無害化
処理を実現し、C E時
代の高度なリサイクル
体制の確立を目指す考
えだ。